

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般レストラン（スタッフ）	・若者の外出が目立つようになっているが、新年度になり会社員等のサラリーマンも出歩くようになると考えられ、人の動きが多くなり若干期待をしている。
	◎	競馬場（職員）	・来場者の更なる増加が見込まれる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進むと考えられるため、今より若干回復することを期待をしている。
	○	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されると、人の動きが緩和されるため、売上増加を期待している。
	○	商店街（代表者）	・年度初めの経費増加が見込めるが、ゴールデンウィーク前で高止まりすると考えられる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で大きな変動があったが、少しでも収束し東京オリンピックが行われるという期待感もあり、今後人の動向が多くなる。
	○	商店街（代表者）	・近隣で第4波の感染者増加がないことが条件ではあるが、自粛生活にも緩和がみられ景気は回復傾向にある。
	○	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息傾向が継続すれば、現在買物を我慢している消費者の購買意欲が活発化することが期待できる。
	○	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種開始時期の不確かさやクラスター発生による外出抑制や感染防止策への意識は継続しているが、緊急事態緩和と店頭催事の再開、入学シーズンの学生服受取、フレッシュャーズ需要、また、季節催事の開催やWeb・通販受注充実で客の動きが期待できる。客単価や商品単価は維持しており、慎重な行動姿勢や生活防衛意識は継続しているが県外との往來の回復で3世代での来店による購買に期待しており、回復も見込める。
	○	スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除されたため、今後は若干人の流れが出てくる。人が動けば景気もやや良くなると予想しているが、第4波が懸念される。
	○	コンビニ（経営者）	・自粛ムードの閉塞感から、人の動きが活発になる傾向になっており、全体としては景気はプラスになる見込みである。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・近隣の桜祭りは中止になっているが、暖かくなるにつれ新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていき、客の外出も多くなると、来客数も若干増加する。
	○	衣料品専門店（総務担当）	・今後の新型コロナウイルス感染次第であるが、ある程度収束すれば、現状より景気は回復すると期待をしている。
	○	家電量販店（店員）	・新生活準備で非常に忙しい状態で、新型コロナウイルスとは関係なく、完全に通常営業になっている。特に来店客は、必ず何か購入しているため、自粛から解放モードで消費意識が出ており、売上が伸びている。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・例年よりは来客数が若干少ないが、1～2月と比較すると増加傾向にある。来客数が増加傾向である要因としては、新型コロナウイルス禍ではあるが、気候も暖かくなり外出も多くなっているためであると考えている。
	○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ワクチン接種も本格化してくるから、この回復基調は継続していくと予想している。唯一、不安な点は変異種が猛威を奮い、全国規模の緊急事態宣言が出てしまうことであるが、そうならないよう、3密回避を厳守し、細心の注意を払いたい。現状、旅行業種で厳しい経営が続いているため、早期の対策に期待している。
	○	高級レストラン（経営者）	・人が通らない状態であるが、やっと緊急事態宣言が解除され時間延長になったことから、旅行客に期待をしている。
○	一般レストラン（経営者）	・まだまだ感染が続いている地域もあるが、早く収束に向かいGo Toキャンペーンが再開すれば、にぎわいは戻ってくるため、早い段階での再開を期待している。	
○	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・政府の景気対策への期待を込めてになるが、Go To TravelキャンペーンとGo To Eatキャンペーンの取組が、大きく販売数に影響するため、再開がない場合は、季節指数として悪くなる見込みである。	
○	都市型ホテル（スタッフ）	・ワクチンの速やかな流通で、警戒せず移動ができるような環境を期待する。	

○	旅行代理店（職員）	・6月のGo To Travelキャンペーンの全国再開を予定していることから、旅行需要が若干増加する可能性を予測している。
○	通信会社（企画担当）	・客の体制や予算が落ち着いてきており、新型コロナウイルス対策関連事業に限らず、引き合い、受注が回復傾向にある。
○	通信会社（企画担当）	・テレワーク需要やGIGAスクール起因の光回線販売伸長が期待できる。
○	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、ゴルフブームは今後も継続するのではないかと期待をしている。
○	美容室（経営者）	・春はおしゃれシーズンとなるため、2～3か月先の売上は良くなると期待している。新型コロナウイルスの感染が終息すれば、より上昇すると考えられる。
○	住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイント、補正ZEH支援事業、すまい給付金延長等住宅を検討する好条件がそろっており、景気はやや良くなる。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの推移も全く見通せないことから、将来的な予測が全く付かず、期待が持てない。
□	商店街（代表者）	・3月の後半から時短営業が解除となっているが、当地では催しや花見の自粛要請が続いており、しばらくこの状況は変わらない。
□	商店街（代表者）	・2～3か月先も売上高及び来客数は低迷商況であると予測しており、対応を模索している。
□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種等の動きが読めないため、現況が継続する。
□	百貨店（企画担当）	・来客数、売上共に改善傾向であり、ゴールデンウィーク等で移動する機会が増加すれば、衣料品を含め更に需要は高まると期待している。しかし、第4波の影響も注視していく必要があるため、現時点と同レベルで推移していくものと考えている。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、かなり回復すると考えられるが、現在変異種も含めて第4波も懸念されており、今後の見通しは分からない。しかし、今の状況がこのまま継続すると深刻な状態になる。また、取引先も厳しい状況で、撤退している店も頻繁に出ている。今後、ダイレクトメールを組むことが難しくなると予想される。
□	百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスも今のところ落ち着いており、来客数の戻り次第で売上も上昇してくる。物産催事は、3密対策を講じながら行う予定で、前年を上回ると予想しており、どの程度の伸長があるか期待をしている。全体では、今のところマイナス要因は考えておらず現状が継続する。
□	百貨店（プロモーション担当）	・大きなモチベーションがないまま、新型コロナウイルスの影響が続く。
□	百貨店（業務担当）	・ワクチン接種や新型コロナウイルスの変異種の報道があるたびに客の関心は高まり、特にファッション関連商品やし好品等の購入に気持ちが向かわず、力強い消費にはまだまだ時間が掛かる。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン供給次第で、客の行動や生活環境が変わってくると考えており、現段階での不透明な状態では変わらない。
□	スーパー（企画担当）	・ワクチン接種や今後の感染状況にもよるが、いずれにしても大幅な改善は見込めず、回復しても緩やかなものとなり、むしろ若干下ブレ傾向が続くと予想している。
□	コンビニ（経営者）	・今のところワクチン接種の普及も遅く、新型コロナウイルス感染への警戒感も変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・当地でのワクチン接種が一部の病院のみで、他県より遅いと感じている。一般の接種までには、まだ時間が掛かりそうである。安心して買物が可能となり、来客数が元に戻るまでには、厳しい経営が続くと考えている。
□	コンビニ（経営者）	・前年の今頃は、新型コロナウイルスのまん延が危惧された状況であった。前年の緊急事態宣言は厳格に守られていたが、現在の状況は、前年を下回っている。街中の店舗は、存続を検討しなければならない状態にあり、非常に危機的である。
□	コンビニ（エリア担当）	・ワクチンの安定供給と効果に分かるまでは、状況は変わらない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されたが、第4波が懸念される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言解除にもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で花見は実質規制中であるため、来街者や来店客が増加する見込みが立たない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・2～3か月先は読めないが、このまま変化はないと予想している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・6月は梅雨入りの時期になるが、ファッション業界には関係がある。新型コロナウイルスの終息も不透明で、消費が活発になるとは考えられない状況である。この状況で、どのような対策を講じるかは、各企業の努力に委ねられる。生き残るために知恵を絞っていきたい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・全て新型コロナウイルスの感染状況によって左右されると考えられるが、巣籠り需要や携帯電話の復調以外での商品の不振が続くと予測している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・今後も新型コロナウイルスの感染が継続するという状況であるが、家電のこの1年は、巣籠り需要により伸びていることから、売上が若干落ちつつも悪い状況ではないという流れは、しばらく続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今後も新型コロナウイルスの感染状況が不透明なため、安心して購入できないのではないかと懸念している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第であるが、今後も新車や中古車の販売は堅調に推移すると予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格の見込みは、高止まりした後、やや下げの傾向も予想される。行楽シーズンを迎え、自動車による移動も多く見込まれ、ゴールデンウィーク等における燃料油及びカーケア商材の販売に期待したい。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルス禍が数か月で収束するとは考えられないため、年内はインバウンドも望めない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染による影響が不透明なため、良くなる兆しが全くない。当地では新型コロナウイルスの変異種が発生しており、その影響が出てくると現状より悪くなると危惧している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（専務）	・Go To Travelキャンペーンが再開する予定のため個人客が増加すると予想されるが、平日の団体客の動きが通常に戻るのはまだ先である。今回は休館をチャンスとして、改装を進めており増客につながることを期待している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（総務）	・ホテルの客室、レストラン、宴会場の予約状況を見る限り、大幅な伸びは見込めない。特に宴会は模様眺めの感が強く、新型コロナウイルスの感染状況次第で延期、また中止を考えている主催者が多い。ワクチン普及が景気を左右するため、状況を見極めている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今まで夜を中心に、タクシーの台数制限をしていたが、第4波で台数が戻ることにより、1台当たりの売上が一層減少することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今後も新型コロナウイルスの感染が増加すると予約が減少し、人の動きが止まるため、先行き不透明である。
<input type="checkbox"/>	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスのリバウンド現象の影響が懸念される。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業）	・緊急事態宣言が解除されたが、まだ新型コロナウイルスの終息が不透明であり、今後の状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いている状況であるが、再度の感染拡大に不安で、今年よりも良くなるとは考えにくく、横ばいが継続する。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の受注状況が芳しくなく、派遣社員の減員等経費削減の動きがある。今のところ景気が好転する要因が正直見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・緊急事態宣言解除により人の動きが出ており、季節的にも客の増加が見込まれるが、今後第4波発生状況が懸念される。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・今月の景気は良くも悪くもないため、3か月先は現状と変わらない。

□	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言等様々な対策を講じているが、一般的な景気としては、余り変わっていない。飲食業や観光業は厳しい状況であるが、何とか踏ん張っているため、3か月後もどうにかこの状況を継続できると予想している。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の収束がみえない現状では、飲食店を始めとしてホテル等への納入業者の不景気が続き、全体でも消費動向は上向きにはならない。ワクチン接種が広がり、社会が新型コロナウイルス禍の恐怖から逃れることができた時点で、少しずつ景気も回復すると推測する。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・都市部の緊急事態宣言が解除され、全国的にG o T oキャンペーンやイベント等で人の動きが出てきて、感染者数が増加し、人の動きが鈍くなるため、厳しくなっていく。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・他の地域では、新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、再度営業時短要請が発出されることも予想され懸念している。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・緊急事態宣言が解除され、売上は徐々に戻ると予想しているが、再び感染者が増加しており、1日も早い収束を願っている。
▲	百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され来客数が大幅に伸びているが、この状況が続くとリバウンドする可能性が高いため危惧している。
▲	百貨店（経営企画担当）	・都心部を中心に新型コロナウイルスの感染拡大の第4波の懸念が見込まれており、今後の来店にマイナス影響となる可能性が高い。
▲	スーパー（経理担当）	・前年が特需のような状況であったので、今年は厳しさが一層増している。
▲	衣料品専門店（店員）	・今の気の緩みから新型コロナウイルス感染者が増加し、また緊急事態宣言発出になるのではないかと危惧している。
▲	家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増え感染が落ち着くにつれて、家電需要も減少する可能性がある。好調であった反動は、必ず出てくると予想している。
▲	家電量販店（従業員）	・新生活スタートに向けての家電の需要が増えている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・春先は消費が落ちるため、景気がやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続されると予想される。
▲	住関連専門店（経営者）	・緊急事態宣言解除で、都市部での感染拡大の傾向が見られ、キャンペーンに陰りがみられる。巣籠り需要も一段落し、耐久消費財の家具等への購入減少がみられる。
▲	住関連専門店（従業員）	・例年秋冬は羽毛ふとん等の高級寝具の需要が高くなり、春先は就職や進学等の引っ越しで需要も上がる。そういった繁忙期が終わるため、落ち着いていく。
▲	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス第4波が来るのではないかと危惧している。
▲	スナック（経営者）	・3～4月は歓送迎会のシーズンで本来なら売上が期待できる時期であるが、まだ会社から禁止されている企業が多いため、ほとんど見受けられない。また、個人利用もまだまだ自粛ムードで戻っていない状態である。今後の見通しの予測がつかず、懸念している。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍の状況で、今までの産業構造が分岐点にきていると感じている。今まで、成長企業であった分野に変わる新しい産業が、多方面から芽生えてくると考えられ、期待をしている。
▲	理容室（経営者）	・卒業や進学、就職、人事異動など、一斉に固定客が減少するため、新規で回復するには、1年掛けなければいけないことから、ここ2～3か月は厳しい状況が続く。
×	スーパー（総務担当）	・このまま新型コロナウイルスの感染拡大がある程度収まれば、巣籠り需要も減少し、以前のように価格競争が激しくなる。そのような環境では、なかなか厳しい状況とならざるを得ない。
×	スーパー（統括者）	・内食が減少傾向になっているため、来店客の買上点数や客単価が減少傾向になっており、加えて、競合店との競争の影響は、非常に深刻になってくる。
×	コンビニ（店長）	・リバウンドにより、再度緊急事態宣言が発生すると予測される。

	×	家電量販店（店長）	・家電量販店は新型コロナウイルス禍で特需が続いていたが、緊急事態宣言が解除され売上が落ち着き始めている。特にテレワーク関連商品や高級調理家電、大型冷蔵庫、空気清浄機の売上が大幅に落ちており、この傾向が続くと予想される。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス変異種の感染状況にもよるが、大きく好転することはない。個人の場合、収入減少により、大きな金が必要な家の新築や購入、また設備投資への意欲が下がることが考えられる。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先から更に増産を依頼される状況であり、今後は設備投資や雇用も増やす計画である。
	◎	経営コンサルタント（代表取締役）	・新型コロナウイルス感染者増加の不安が出ているが、ワクチン接種もそろそろ始まり、2～3か月後にはかなり状況が好転していると予想している。しかし、状況次第では、厳しい状態に陥ることも考えられる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後には、IC関係の動きが良くなると予想される。それにより、部品が供給されれば、各客は、それなりの動きになるため、その準備はできている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件及び見積依頼の量が増えてきており、現状より確実に受注量は増えそうである。しかし、一昨年と比べ、その量は7割程度である。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルス収束を見据えた動きが出ている。
	○	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体製造装置やパワー半導体関連の受注が増加傾向であるが、楽観は許されない。
	○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・生産計画から判断するとやや良くなるように捉えられるが、取り巻く環境から見れば樹脂材関連のフォースマジュール、半導体関連メーカーの火災等生産に影響してくる事象が多く、注視している。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・市場の価格相場が頻繁に上下しているのが気になるが、生産量から見ても景気は良くなると予想される。
	○	輸送業（従業員）	・緑茶やコーヒー等にダイエット効果をうたった機能性食品の需要が高まっており、引き合いが多くなっている。また、外食の受注も多くなっている。
	○	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、ワクチン接種も開始され、また気候も暖かくなっていることから、人の動きも活発になることが予想される。また、緊急事態宣言が解除されたこともあり、影響を受けている飲食業等の売上回復がある程度見込めるため、現況より景気は良くなる。
	○	金融業（営業）	・緊急事態宣言が解除され、今後ワクチンの効果が広がり、新型コロナウイルスの影響が緩和されれば、当然ながら景気は回復傾向に向かう。
	○	新聞社〔広告〕（担当者）	・旅行関係の広告が動き出している。
	○	広告代理店（役員）	・客からの新案件発注が入り始めてきており、今後もこの傾向が続く可能性がある。
	○	経営コンサルタント（社員）	・昼、夜共に人出が徐々に戻っている。
		□	農林水産業（経営者）
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響も少しずつ改善に向かっている。
	□	繊維工業（営業担当）	・仕事や学校の授業がリモートになれば衣料品関係には仕事が回らなくなり、今の悪いままで推移すると考えている。
	□	家具製造業（従業員）	・現状の市場情報では、今後も新規案件の数は伸び悩むと判断せざるを得ないため、競合激化の状態は当面続くものと予想される。また、東京オリンピックが無事に開催されたとしても、人の流入が規制されるなかでは、経済の著しい回復とまでは期待できない。
	□	化学工業（総務担当）	・農薬需要の見通しが不透明で、危惧している。

	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・前年度は陶器市が行われなかった。今年は開催される予定ではあるが、開催方法が変わるため、景気の上乗せはなく、受注関係は余り変わらないと考えている。今後はWebを充実させて、取引関係を強化しなければならない。
	□	輸送業 (従業員)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、現在より大きく好転することはない。
	□	輸送業 (総務担当)	・新型コロナウイルスの第4波及び変異種ウイルスの感染状況により商況は変わるが、良くなるという見通しは立たない。堅実な産業の物量は変わらず推移しているが、外食関係はかなり落ちている。
	□	通信業 (経理担当)	・新型コロナウイルスの感染者数は減少しているが、今後の具体策に乏しいため、何か対策を講じる必要がある。
	□	金融業 (調査担当)	・地元での新型コロナウイルスの感染は落ち着いているものの、感染再拡大に対する不安は払拭されておらず、ワクチンの供給量や副反応に対する不安も根強い。長引く新型コロナウイルス禍で、資金繰りに苦慮する事業者に対する支援策の強化が急がれる。
	□	金融業 (調査担当)	・全県において緊急事態宣言が解除されているが、リバウンド防止期間として時短営業の要請を延長するなど、しばらくは新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動のバランスを慎重に見極めていく期間が続くと予想される。現況を一変させるかもしれないワクチン普及時期もまだ流動的で、現段階では景気回復は、見通しにくい状況である。
	□	不動産業 (従業員)	・宿泊施設の売上が低調ながら横ばいに推移している。
	□	経営コンサルタント (代表取締役)	・自社Webのアクセス件数、問合せ件数に大きな変化がない。
	□	経営コンサルタント (社員)	・まだまだ外出に抵抗があり、当分今の状況は変わらない。
	□	その他サービス業 [物リース] (職員)	・継続して大幅な変動は見られないと予想している。
	▲	農林水産業 (従業者)	・今後は、全国から多くの出荷量が出ることから、ゴールデンウィークにかけて、市況の下降がどのくらいまで続くのか注目している。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・自治体予算で動くため、予算実行は後半に見込まれる。
	▲	金属製品製造業 (事業統括)	・東京オリンピックによるインバウンド需要が見込めないとなると、ホテルを中心とした客の投資意欲は見込めない。
	▲	建設業 (社員)	・新年度の予算は確定しているが、いざ発注となると5月の連休が終わらなければ本格的にならないため、ゼロ債や平準化を公言するのであれば、早い発注を望んでいる。
	▲	通信業 (職員)	・来年度受注見込みの折衝案件が、今年度より少ない。
	▲	金融業 (従業員)	・新型コロナウイルス感染者数が一部の都市で再び増加しているため、Go To Travelキャンペーンの運用再開のめどが立っていないこともあり、ホテル・旅館・飲食店等では先行きを不安視する企業が多い。
	▲	その他サービス業 [コンサルタント] (代表取締役)	・市町村では、予算化のための見積り要請が例年と比較して少ない。4月以降の業務の受注業者を決めるためのプロポーザルを3月から開始する市町村も多いが、その動きが少ないことから、4月以降の発注の減少が予測される。そのため、景気が悪くなることが予想される。
	×	建設業 (従業員)	・4月からの体制で、規模が縮小することになり、売上や利益が共に減少に転じると見込んでいる。
雇用 関連 (九州)	◎	求人情報誌製作会社 (編集者)	・先行き不透明な状況を脱し、これまでのマイナス分を取り返すための積極的な営業展開を期待している。
	○	人材派遣会社 (社員)	・インサイドセールスのニーズが増加傾向である。
	○	新聞社 [求人広告] (社員)	・緊急事態宣言解除により、新聞広告の量も回復基調にあるが、前年並みにはまだ及ばない。Go To キャンペーンは再開されていないが、完全にストップしていた旅行やホテル業からの広告出稿も、回復傾向にある。しかし、第4波が来て緊急事態宣言となった場合は、元に戻る可能性が高い。
	□	人材派遣会社 (社員)	・緊急事態宣言が関東で解除になっているが、それによる感染者数により影響が変わってくる。どの企業もできることをするだけというスタンスである。

□	新聞社 [求人広告] (担当者)	・企業をリストラで退職になった人からの相談をよく受けるようになった。一方で、外出や旅行等が減っているため、給与や資金を車や家具に消費する人が増加している。新型コロナウイルスの影響でプラスマイナスの景気が続く。
□	職業安定所 (職員)	・新規求人は、業種によって増加しているものもあるが、新型コロナウイルスの感染状況が、はっきりと収束に向かっていないと見えず、今後経済活動を制限される可能性があり、求人が増加していく見当が付かない。
□	職業安定所 (職員)	・地域内で複数の商業施設の開業等明るい動きもあるが、新型コロナウイルス収束のめどが立たない限り、サービス業や飲食業の雇用拡大は余り期待できない。
□	民間職業紹介機関 (職員)	・変異種ウイルスによる第4波の懸念もあるが、現状が厳しい状況のため、新卒の採用に関しては、これ以上に悪くなることはないと考え。一方、経済活動が本格化できない限りは以前のように人手不足で求人増加という良い状態にはならない。
▲	人材派遣会社 (社員)	・連休に入る時期であり、更に求職者の動きや企業の動きも鈍くなる。新型コロナウイルス関連の給付金事務業務等が継続される可能性もあるが、期間限定であるため、長期的な景気の上向きは感じられない。
▲	職業安定所 (職員)	・事業所の規模縮小や解雇の相談が増加している。これまでは、独自の工夫や助成金で事業や雇用の維持をしていたが、新型コロナウイルスの終息がみえないため、維持が難しくなっている。
▲	学校 [大学] (就職支援業務)	・求人の動きだけでみると、明らかに2～3か月後は、その全体数が減少する。採用人数は、業績の低迷から予定数以下の内定者であっても、採用活動を終了する可能性がある。
×	*	*